

# 県私幼会報

No.222



こどもがまんがが PROJECT

発行人：理事長 角谷正雄 一般社団法人新潟県私立幼稚園・認定こども園協会 新潟市中央区笹口1丁目12番地7 ダイアパレス笹口内 TEL (025)245-2691 FAX (025)245-2692



## 退任の挨拶

真人幼稚園

理事長 前田 邦光

七期十四年という長い期間、当協会の理事長をさせていただきま

したことを思いますと、正直に申しまして複雑な気持ちになってしま

います。小林美代子先生、今湊良敬先生、齋藤準治先生という錚々たる名理事長先生方のお名前を穢してはならないの思いで、必死になってやってきた年月とも言えま

しよつ。県内各園の皆さま方には大変お世話になりました。力量不足のこの私を見捨てることもなさらずに、あらゆる場面でご理解とご協力を賜りましたことは、私の胸に深い感銘となって残り続けること

と思います。本当に優しく思いやり

に満ちた先生方ばかりでした。また、副理事長や各委員会の委員長先生、委員の方々はじめ理事、常任理事など幹部の先生方も素晴らしい先生方ばかり

でした。今、こつやって過ぎし日々を思い返しても、いやな思い出は一つもありません。それどころか、楽しく、達成感に満ちた良い思い出ばかりです。他県の先生方とのお話の中には、時々ですが、非協力的であったり、方針に反対する等、協会として

く思われま

した。本

当にありが

とござ

います。この十四年間を振り返りますと、現在ほどはありませんが、やはり幼児教育・幼稚園教育にとつては大きな変化と課題の山積する時代であり

ました。この間、全日本私立幼稚園連合会においては、副会長や常任理事、調査広報委員長、教育研究委員長等を拝命し、私なりに課題に取り組んでまいりました。それらの活動を根底から支えて

くださったのは、他ならぬ当県の先生方であつたのです。今、私が誇りに思うこと、それは若



## 新任の挨拶

認定こども園 金城幼稚園・保育園

園長 角谷 正雄

今年度より(一社)新潟県私立幼稚園・認定こども園協会の理事長職を拝命いたしました、南魚沼市塩沢、幼保連携型認定こども園金城幼稚園・保育園長の角谷正雄です。県私幼創立以来70年の歴史の中で、新潟市外から初の5代目理事長です。小林美代子先生、今湊良敬先生、齋藤準治先生、前田邦光先生、4名の歴代理事長のご偉業ご功績による、伝統ある(一社)新潟県私立幼稚園・認定こども園協会の理事長を引き継ぐという大役をいただき、身の引き締まる思いです。田舎の若輩者、至らない点も多くあると思

いますが、ご協力よろしくお願

い申し上げます。私が「幼児教育とは何か」と問われた時に思い浮かぶのは、幕末の思想家吉田松陰の格言「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし」です。幼児教育の役割は、子ども達に夢や希望を持たせることであると考

えております。(一社)新潟県私立幼稚園・認定こども園協会が昨年度策定した「幼児教育ビジョン」を基本として、諸課題を解決できる

よう皆さまと共に努力してまいりたいと考えております。新制度では市町村対応が重要

になります。(一社)新潟県私立幼稚園・認定こども園協会として

も、市町村教育長等に幼児教育の重要性を伝えてまいりたいと考えております。地区長を通して要請いただければ各市に伺います。今年度は、この考え方を基に、従来の事業に加えて、70周年記念事業並びに文部科学省からの助成金による人材確保事業を行います。人材確保事業では、①保育者の離職防止。②資格保有者の再雇用に向けた(就業規則見直しとキャリアパス制度)研修。③新規採用を目的に並びに就職フェア(7月31日新潟、8月8日長岡)を開催します。各園の皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。理事長就任後の現状は、県私幼やその他諸会議、県私幼関係先訪問、県知事選対応等で多忙を極めております。就任前日の5月14日から31日の18日間、新潟8日、東京3日、長岡2日、群馬1日と14日間出張続きの日です。吉田松陰の言葉「かくすればかくなるものと知りながら、やむにやまれる大和魂」の気概を持ち活動してまいります。よろしくお願

い申し上げます。

# 平成30年度事業方針（各部会の事業計画含む）（案）

## 〈事業方針〉

平成30年度国及び新潟県の幼稚園・認定こども園関係の各種補助金は、各分野において前年同額以上となりました。これは、国では新潟県選出自由民主党国会議員団の皆さま、県では幼児教育を考える会の自由民主党県会議員の皆さま、県行政担当官の皆さまのご理解・ご協力の賜物と感謝申し上げます。

さて、平成27年度から施行された「子ども・子育て支援新制度」により、幼稚園も私学助成の幼稚園、施設給付型の幼稚園、幼稚園型の認定こども園、幼保連携型の認定こども園、小規模保育施設併設型の幼稚園など様々な形態の施設ができてきました。その形態により、同じ年齢の子ども達を保育していても許認可・補助制度・基準が違います。職員の処遇改善など制度も複雑化しています。県私幼としてどこに向けてどのような活動をすることが子ども達並びに会員園の皆さまのためになるか試行錯誤してきました。それらを踏まえて今年度はより具体的な活動を強力に進めていきたいと思えます。

平成27年度から始まったビジョン策定

委員会で「新潟県私立幼稚園・認定こども園幼児教育ビジョン」を昨年度完成しました。このビジョンは県私幼としてこれからの方向性を定めたものであります。その宣言文で、「幼児教育の目的は、『生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの』であり『一人ひとりの子どもがその長い人生を通して知・徳・体の豊かな心と体を獲得し、一生涯び続けながら、いきいきと生きていくことができる人間としての力の根源（人間の基礎）の育成』を目指す。その目的を達成するために、教育計画・保育内容・教職員・環境等を含めた総合的な研修体制を整え『幼児教育の質の向上』に努める」こととなっています。

また、今年度は幼稚園教育要領並びに幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改訂され、幼児教育から始まる学校教育の連続と連携がより重要視されてまいりますので、本ビジョンの趣旨をご理解いただき、各園におかれましては積極的に教育の質の向上に取り組んでいただきたいと思います。

当年度は県私幼創立70周年にあたる

年でもあります。過去を振り返りながら「幼児教育ビジョン」をもとに各部会各委員会で将来を見据えた事業を展開してまいりたいと考えております。会員各位のご支援ご協力宜しくお願い申し上げます。

## 〈事業計画〉

### 1 幼児教育・保育の質の向上

- ① 全国参加の教育研究委員会の実践研究
- ② 教育研修大会の実施
- ③ 新教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解
- ④ 公開保育を前提とする「ECCER」の理解と受審
- ⑤ 学校評価の全国実施へ

### 2 各園の振興

- ① 幼児教育ビジョンを使って国・県・市町村への働きかけ
- ② 国・県・市町村に対応した情報と提案
- ③ 幼児教育を考える会〈県議団〉並びに国会議員団との連携

### 4 人材確保

- ① 子ども・子育て支援新制度への対応
- ② 子ども・子育て支援新制度改定に向けての対応
- ③ キャリアパスの実践研究
- ④ 保育者養成校等との連携充実
- ⑤ 人材確保のための情報提供の充実、就職フェア等の計画・実施
- ⑥ 人材確保のための新たな事業の策定

### 5 組織改革

- ① 県私幼協会の存在意義を高める「幼児教育ビジョン」の周知
- ② 役員の役割の明確化と組織の効率化
- ③ 適時・的確な県私幼並びに全日私幼、その他からの情報提供



# 平成30年度 県私幼事業計画

## 特別委員会

事業内容	備考
1. ビジョン策定委員会の活動（常任理事会所管）	県私幼中期計画(ビジョン)の策定
2. 人材確保委員会の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養成校との連携</li> <li>・ 人材確保に向けた事業の実施(文部科学省委託事業)</li> </ul> 研修会(離職防止・定着促進) 6月12日(火) 新潟市・ときめいと 7月17日(火) 新潟市・ときめいと 合同就職説明会 7月31日(火) 新潟市・朱鷺メッセ 8月 8日(水) 長岡市・アトリウム長岡
3. 70周年記念事業実行委員会	70周年記念事業の計画・実施

## 総務部

事業内容	備考
1. 経営委員会の活動	教職員の待遇改善 経営実態調査の分析
2. 広報委員会の活動	県私幼会報発行 (年2回) P T A連合会会報発行 (年1回) 県私幼HP運用・活用方法の検討
3. 設置者・園長研修会☆の開催	総会前 5月15日(火) 新潟市・朱鷺メッセ 県私立幼稚園PTA連合会研修会と併催
4. 経営研修会*の開催	11月または2月
5. (全)設置者・園長全国研修大会の参加	10月22日(月)～23日(火) 栃木県
6. (全)関東地区代表者協議会の参加	11月06日(火)～07日(水) 群馬県 理事長・副理事長・常任理事 参加
7. 県私幼理事会・監事会・総会等の開催	監事会 4月11日(火) 新潟市・県私幼事務所 理事会 4月17日(火) 新潟市・ターミナルアートイン 定時総会 5月15日(火) 新潟市・朱鷺メッセ
8. 全日私幼関連事務の処理	
9. 永年勤続者の表彰	教育研究大会時

(注) ☆印：県私学団体振興補助事業

\*印：県私学振興会補助事業

## 振 興 部

事業内容	備考
1. 私立幼稚園・認定こども園補助金の助成要望 ・政策的要望書 ・助成に関する要望書、陳情書	私学振興委員会・認定こども園部と連携
2. 国会議員並びに「幼児教育を考える会」県議団との連携強化（認定こども園部と合同）	・国会議員との懇談会の実施（認定こども園部と合同） 5月12日(土) 新潟市・ANAクラウンプラザホテル新潟 ・県議団との教育懇談会の実施
3. 設置者・園長研修会☆の開催	振興大会委員会と連携  総会前 5月15日(火) 新潟市・朱鷺メッセ (県私立幼稚園PTA連合会研修会併催)
4. 県私立幼稚園PTA連合会研修会の開催	総会前 5月15日(火) 新潟市・朱鷺メッセ (設置者・園長研修会併催)
5. 全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会への参加	
6. 新たな補助金のあり方	
7. 全日私幼連 会議参加・調査協力	・市・町からの私幼補助金の実態調査 ・都道府県政策担当者会議への参加
8. 経常費補助金の推移調査	
9. 各委員会の活動	
・私学振興委員会	
・振興大会委員会	総会前 5月15日(火) 新潟市・朱鷺メッセ (県私立幼稚園PTA連合会研修会併催)

(注) ☆印：県私学団体振興補助金事業

<b>研 究 部</b>
--------------

事 業 内 容	備 考
1. 教育研究大会の開催 ※県幼連併催 *	11月30日(金) 上越市・オーレンプラザ
2. 幼児教育講座の開催 ☆	12月26日(水) 新潟市・朱鷺メッセ
3. 教育実践研究会の開催 *	9月13日(木) 愛宕幼稚園 9月19日(水) 栄光幼稚園
4. 地区研究会の実施 *	11月14日(水) 上越 11月22日(木) 中越 11月22日(水) 下越 11月21日(水) 新潟
5. 教育研究委員会研修会の開催 *	7月13日(金) 新潟市・朱鷺メッセ
6. 委員会の活動	教育研究委員会・教育実践委員会(関地区・輪番)・ECEQ委員会
7. 全日私幼連関東地区教員研修大会の参加	8月21日(水)・22日(木) 千葉県千葉市・幕張メッセ
8. (公財)全日私幼幼児教育研究機構実施研修会等の参加 ・全国研究研修担当者会議 ・幼児教育実践学会 ・ECEQコーディネーター養成講座	8月17日(金)・18日(土) 埼玉県・東京家政大学狭山キャンパス 講座Ⅰ・Ⅱ 7月3日(水)・4日(木)
9. 研究集録の編集・CDの作成	第42号
10. 県教委主催研修会等の参加・協力	

(注) ☆印：県私学団体振興補助金事業  
\*印：県私学振興会補助金事業

<b>認定こども園部</b>
----------------

事 業 内 容	備 考
1. 認定こども園補助金の助成要望 ・政策的要望書 ・助成に関する要望書、陳情書	施設型給付委員会・振興部と連携 認定こども園、子ども・子育て支援新制度に関する情報収集
2. 行政や諸団体との情報交換・連携強化	・国会議員との連携強化、懇談会の実施 (振興部と合同) 5月12日(土) 新潟市・ANAクランプラザホテル新潟 ・地元市町の首長・議員との連携強化
3. 各委員会の活動	
・施設型給付委員会	研修会の実施(年2回予定)：内容未定
・保育教諭研修委員会	・キャリアアップ研修会の実施 8月9日(木) 新潟市・朱鷺メッセ ・未満児保育に関する研究・研修並びに情報交換会の実施*

(注) \*印：県私学振興会補助金事業



# 第四十八回県私幼定時総会



角谷新理事長



前田前理事長



遠山大学  
私学振興課長



星野県会議員

●とき 平成三十年五月十五日(火)  
●ところ 新潟市・朱鷺メッセ3階 中会議室 301

総正会員の議決権数一〇六個のうち九十一個(委任状提出三十五個)出席で定款第十七条により総会は成立。前田理事長の開会挨拶後、来賓としてご臨席を賜った県副知事代理の遠山大学・私学振興課長よりお祝いの言葉をいただいた。

「新潟県幼児教育を考える会」の所属県議のうち、星野県議、渡辺県議、佐藤県議にご臨席を賜り、会長の星野県議よりお祝いの言葉を、石井県議、尾身県議より祝電をいただいた。大学・私学振興課からは、私学担当の神林主任にご出席いただいた。

**第一号議案「平成二十九年度事業報告及び決算報告の承認について」**  
角谷総務部長・吉井振興部長・丸山研究部長、濱野認定こども園部長から各部の報告があり、つづいて事務局から決算報告の後、北澤監事の監査報告があり、満場一致をもって承認された。

**第二号議案「平成三十年度事業計画及び予算(案)」**  
理事長から事業方針を、各部長から事業計画について説明があった。最後に事務局から予算案について説明があり、満場一致をもって承認された。

【SNJ】

角谷総務部長より提案がなされ、いくつかの質問ののち、満場一致の拍手を持って原案通り承認された。

## 第四号議案「役員改選(案)」

県内4地区から選出された理事、監事候補者及び顧問について審議した結果、満場一致の拍手をもって承認され、被選任者は即時就任の承諾を得た。

【理事長】 角谷正雄  
【副理事長】 石田明義・若槻 司  
吉井元樹・濱野義信

【常任理事】 正副理事長・各地区長  
各部長

【総務部長】 前田 幹

【振興部長】 吉井元樹

【研究部長】 丸山和幸

【認定こども園部長】 濱野義信

新執行部を代表して、角谷新理事長が就任挨拶し、再任の顧問の先生方ならびに前理事長前田邦光先生には改めて顧問を委嘱して、今後のご指導をお願いした。なお、県幼連の私幼側役員、全日私幼連への役員など慣例に従って、正副理事長に一任された。

その他、第三十二回全日私幼連関東地区教員研修(新潟)大会収支決算について事務局より報告がなされ、幼稚園の人材確保支援事業に係る企画提案の審査結果について、総務部長より委託事業の内容と今後の計画等について報告があった。

濱野副理事長の挨拶ののち、閉会した。

# 設置者・園長研修会

●とき 平成三十年五月十五日(火)  
●ところ 新潟市・朱鷺メッセ国際会議室



島根大学医学部附属病院教授の鬼形和道先生を講師にお招きし、「小児科医から見た子どもの現状と保護者として心がけておくこと」について講演いただきました。

ました。当日は、新潟県私立幼稚園PTA連合会との合同開催ということもあり、保護者の皆様のご参加も多く、和やかな雰囲気の中、講演が行われました。ご講演の内容について報告させていただきます。

## 一、子どもの病気耳より情報

●発熱、熱性けいれん、嘔吐、脱水等の症状へのアプローチ。発熱については、一日の体温変化を考慮すること、また発熱以外の症状や機嫌の状態を見ること大切。

●身長、体重の成長曲線を活用し、相対的に評価する。SD(標準偏差)のラインを超える成長の場合は注意する。

●子どもの心身症、行動異常には好発年齢がある。例えば、乳児期であれば指しゃぶり、幼児期後半であれば反復性腹痛やチックなど。チック症状については、こであればあまり心配ないが、二つ以上のチック症状がある場合には注意が必要。

●最新の情報から、乳幼児の脚気、低カルシウム血症、食物アレルギー等についての話があった。

## 二、子どもを取り巻く環境問題

●「子どもの権利条約」を紹介。こどもは非力な存在で、社会の影響を強く受ける。

●母体の年齢、病気、食事内容、薬物服用、アルコール摂取、喫煙等によって胎児の発育に悪影響が起ることがあり、奇形や先天性の異常を生ずることがある。タバコについては、受動喫煙に注意が必要。喫煙者の服に「コチン」が染み込み、抱っこなどで子どもがその服に触れることで起こる二次喫煙もある。

●テレビの長時間視聴は発語の遅れ等の発達に影響を及ぼし、また就寝時刻が遅くなることで、生活リズム・食習慣・排便習慣の乱れにつながる。

●様々な予防接種は二回接種することが大切。麻疹については、予防接種が唯一の予防策。

●児童虐待には、身体的虐待・性的虐待・レグレク

ト・心理的虐待等がある。虐待によつて脳に変化が生じ、また愛着障害や発達性トラウマ障害になる可能性がある。



(報告) たちばな春日幼稚園 園長 安田佳世

# 子どもたちが泣きかきつくれたこと

認定こども園 恵泉幼稚園 保育教諭 成 沢 陽 子

初めて2歳児を担任することになり、子どもたちが楽しく遊べる玩具や、居心地の良い環境とは？と準備しながら、期待と不安が交錯していた4月。園生活が始まると、保育者が拍子抜けする位、好きな遊びを見つけて過ごす子どもがいる一方、毎朝、力いっぱいママを求めて泣く子。一生懸命泣き止むを我慢して泣く子。この子は朝が来るのが嫌だったのかな？と私も辛い気持ちになりました。早く安心して過ごしてほしい、幼稚園楽しいなと感じてほしい、と願いながら子どもたちと関わっていました。少しずつ慣れ始め「おはよう！」と駆け足で登園し、笑顔も多く見られてきました。しかも、M子のシクシク泣きは相変わらずです。私も

すっかりしてしまつ日が続きまして。そんなM子でしたが、ある日泣いているお友だちに「ママに会いたいのか？」とまで言ってくれ、いいないないばあ！」と云って慰めようとしている姿を見て、泣きながらも安心感を高めて、友達に心を配るまでに成長していったことに気付かされ、喜びを感じた瞬間でした。「自分でやりたい」という気持ちを膨らませながら、いつも「私のことを見ていてね」と保育者を振り回すところ、2歳児の成長を側で実感できるこの仕事に携わることができることができ、とても幸せに感じています。

# 心の育ち

あやめこども園 教諭 曾 根 和愛子

当園では、食育の一環として野菜の栽培を行っています。今年四歳児クラスでは、子どもたちと話し合い、きゅうりを育てることになりました。水やりなどのお世話をし、晴れの日も雨の日も畑の様子を見に行き、祈りながら収穫の日を楽しみにしていました。六月に入りきゅうりが実り始め、収穫の時を迎えました。きゅうりを見つけると大興奮の子どもたち。「大きいよ」「チクチクするな」など、喜びを声に出していました。そんな中、ふと「○○ちゃんお休みだね。みんなで取りたかったね」という声が聞こえてきました。収穫されたきゅうりと共に、子

どもたちがお友だちを思いやる「心の育ち」という大きな収穫を得たように思いました。子どもたちの成長の一つ一つに立ち会うことができ、私自身子どもたちから日々成長させてもらっています。

当園では、毎朝の礼拝を通して感謝する心、たくましい心、理解する心、親しむ心を育めるようにと日々過ごしています。礼拝の中でお休みの子を思う祈り、遠くの国のことを祈る声が聞こえるようになりまし。

子どもたちの気付きや感動などの瞬間を見逃さず、共感し、より深めることのできる保育者でありたいと思います。

# 子どもの主体性を育てる

東光こども園 保育教諭 河 野 智 美

私は、相手の気持ちを考え行動し、思いやりをもって関わられる心が育ってほしい、そのために自分の思いを伝え、話し合ったことを形にして達成感を共に味わえるクラスにしたいという願いがあつた。ある日の活動で「足ジャンケンで全員が担任に勝てるように」ということだけ伝えた。すると、すぐにジャンケン勝負にきたAグループ。出したポーズはそれぞれ、それでも勝つたと思ふ様子が見られた。担任は「残念○○ちゃん負けちゃったね」と声を掛けた。「何で○○くん勝つたのに...」子どもたちの相談が始まりました。すると一人の子が「みんなと同じの出さう」と思いを伝えた。「さうか何出す？」この声か

ら同じポーズを出すようになった。しかし何回も挑戦しているのになかなか勝てず、悔しくて涙を流す子がいた。「大丈夫、もう一回やろう。」と優しく声を掛ける子どもたち。涙をふくことに必死で足でポーズが出せなくなった友達を見て「先生、手のジャンケンでもいい？」「手の平を出して泣いていた子を気に掛け相談して」「ならみんなと同じものを出せる」という結論に達したのだ。私がグーを出す喜び、「勝ったよ、良かったね」と声を掛けていた。

大人が言葉で伝えて教えるよりも、一つの活動から友達と話し合い関わり、子どもたちが主体となることの大切さを感じた。園生活の中で、友達と共に色々な気持ちを味わうことで思いやる優しい心が芽生え育っていくのだなと感じた。

# 保育体験記

## 子どもと共に祈る毎日から

聖上智オリーブこども園 主幹教諭 茂 原 香 愛

毎日の保育の中にも礼拝の時間があり、遊びの声で賑やかだった保育室がオルガンの音色と共に落ち着いたやわらかい雰囲気になりました。円になりお互いの表情を見つめ合いながらうたう聖歌、手を合わせ祈るひと時が子ども達にとっても、私にとっても神様を賛美し嬉しい幸せな時の流れと感じています。

お祈りする私の口もとを見ながら「○○ますように」「○○してくださう」と言葉の語尾を真似する声のかわいらしさ子ども達との心の一致に大切にしていることが共有できている喜びが溢れます。また、聖書のお話を聞く時には不思議そつじしながら

も引き込まれていく表情にも強く感じます。勤務して20年余りになる私の保育を振り返り、ここに書き表すことにはあまりに重いものがあります。園の理念に基づいて育てられてきた教師の姿は、これから研鑽を積み重ねて行くでしょう。仲間と共に日々子ども達の姿を追いかけ全てを受容し熟成していく保育に向いたいと希望します。





# 人材確保研修会

●とき 平成三十年六月十二日(火)

●ところ 新潟市・新潟大学駅前

●キャンパスときめいと



「～保育者の育成と定着を図る～人材マネジメントの視点からアプローチする就業規則」と題して、人材コンサルタント・特定社会保険労務士の安岡知子先生よりご講演いただきました。



初めに保育業界の動向から、園運営のあり方を再検討する時期にきていることをご提示され、これを踏まえた上で、私学の園がこれまで以上に質の高い教育・保育を提供するため必要な人材育成について詳しくご指導いただきました。

人財マネジメントとは、法人理念・教育目標や特色に基づいた ①人材育成（～個々の保育者の技量、知識、専門性を向上・個々がチームとして協働し、組織的に成長）と ②組織づくり（個々の保育者の力が最大限に発揮できる組織）の2本柱

で、この考え方を基に就業規則を見直し、どう活用していくか具体的な事例（労働時間・休憩・残業・処遇改善・研修等）で示されました。

人財マネジメントの視点からアプローチする就業規則はただのルールブックではなく、保育者のやりがいや意欲を育てることができ、やがて人材の育成・定着に繋がっていくものであると認識を変えることができました。また、先生が度々おっしゃっていた「園長や教職員がやりたいことを実現させるために」園運営を根本から見つめる機会となりました。



(報告 新津カトリック幼稚園 園長 栗原奈津子)

平成30年度県大・私学振興課担当者

遠山 隆 課長

坪川 孝子 参事(課長補佐)

福島 健市 政策企画員

神林 敦子 主任

坂内 俊 主事

平成30年度県少子化対策課担当者

玉木有紀子 課長

長谷部徹也 保育支援係長

## 敬弔

新潟市 学校法人神宮学院

理事長 榎坂昌言先生

平成30年6月19日 81歳

ご生前のご功績を偲び謹んで哀悼の意を表します

## 《研修会等のお知らせ》

●キャリアアップ研修会

8月9日(木) 新潟市・朱鷺メッセ

●教育実践研究会

9月13日(木) 十日町市・愛宕幼稚園

9月19日(木) 新潟市・栄光幼稚園

●離職防止・定着促進のための就業規則について(仮)

10月17日(木) 新潟市・朱鷺メッセ

●県私幼70周年記念事業

11月30日(金) 会場：新潟市

※教育研究大会が予定されており

ましたが、都合により当記念事業前に講演会のみ行われることになりました。

●地区研究会

上越・11月14日(木) 中越・11月22日(木)

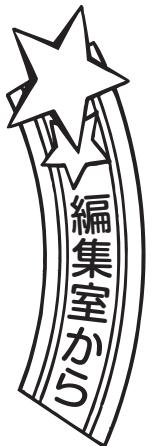
下越・11月22日(木) 新潟・11月21日(木)

●幼児教育講座

12月26日(木) 新潟市・朱鷺メッセ

ほか、経営研修会、乳幼児保育に関する研修会等予定しております。

詳細決まり次第ご案内申し上げます。たくさんのご参加をお待ちしております。



◆子どもたちに、保護者に、教職員に、そして自身の家族に対して伝えたいことを、より相手にとって分かりやすく話せるようになること、今年度の自分自身の目標です。

(京王・井村 静良)

◆夏休みが近づくと、研修会の案内が目白押し。どれも大切と思うけれど、身は一つ。「子どもたちのために、園のために」を心に、自分磨きに精を出します。

(加茂葵・西村 優子)

◆スイングに引率した時、なぜプールに入らないのか聞かれ「先生ね水着がないの」と答えると「あそこにあるよ」指差した先には、婦人水着コーナーが…子どもの気遣いに感謝！

(ひまわり・真田 文子)

◆今年度の園舎建替えに向け、子ども・保護者・教職員にとって、より良い園舎は何か思考を巡らせています。今号から新しく編集委員に加わりました。よろしくお願致します。

(たちはな春日・安田 佳世)

◆世界各国が視察に来る園をTVで紹介。あえて不便な環境作りをし、自ら気付かせる為ユニークなアイデアで保育をしていくことが沢山ありました。見学ツアーがないかな！

(ゆたか・五十嵐佳代)